

## 国際教養学部(外国語) 問題解説

### □■ 出題意図・評価方法・評価ポイント

全体として、英文を的確に読んで理解する力、英語で表現する力を問うています。

英作文が2問、英文和訳が2問配置されていますが、英作文では、特別な idiom を知らなければ解答できない問題ではなく、日常的に使うような構文を使いこなして和文の内容を英語で正しく表現できるかを問うています。英文和訳では、英文が示す論理構造を把握して、日本語で正しく表現できるかを問うています。

〔Ⅰ〕 ファンタジー文学にはどのような特徴があるのかを SF (サイエンス・フィクション) との対比によって説明したファンタジー文学論を読み、ファンタジーと SF の共通点、相違点および具体例を確認できるポイントを出題し、文章の概要を素早くかつ正確に読み解く力を問うています。

内容説明問題では、ファンタジーと SF との共通点、および SF 固有の特徴を理解できているかを確認する問題を出題しています。本文から抜き出す問題では、SF 作品で描かれた科学技術の例を把握することを求めています。和訳問題では、SF の特徴を理解し、比較構文を明確な日本語に訳すものです。英訳問題では、仮定法を用いて正確に英語で表現する能力を求めています。

〔Ⅱ〕 アフリカ系アメリカ人のテニス選手セリーナ・ウィリアムズが大坂なおみとの試合で審判に抗議した態度に関して描かれた風刺漫画を論じた文章を読み、この文章が批判している、現在も残るアフリカ系アメリカ人のステレオタイプおよびそれに基づいたウィリアムズの抗議の卑小化、大坂の持つ多様性の単純化の問題を読み取れるかを問うています。スポーツの試合の背後にある社会問題を扱った文章を論理的かつ具体的に把握する能力を試しています。

本文から抜き出す問題では、問題文の論理構成を論理的にたどって、該当する箇所を見つけることができるかが重要になります。説明を求める設問では、この試合で浮き彫りになった社会問題を理解し、文章を論理的に読み解く言語運用能力を、英語に関して着実に発揮できるかを問うています。英訳問題では、not only . . . but also の構文のみならず、文の基本的な構文 [主語+述部] を踏まえて書くなど、中学校から教わってきた、英語に関する当たり前のことを着実に使うことができるかを問うています。

〔Ⅲ〕 野生のキツネの家畜化に関する研究を紹介した雑誌記事です。これまで謎であった家畜化のプロセスを交配実験でどのように再現したのかを本文中から読み取り、家畜化は遺伝子レベルで起こる変化であることを理解できるかを確認するポイントを出題しています。長い文章を論理構成に注意しながら、的確に読み解く力を問うています。

本文から抜き出す問題では、家畜化したキツネがどのような振る舞いをするかの理解を求めています。3つの内容説明問題では、本研究の最大の成果、キツネの家畜化の経緯、および家畜化は遺伝子変異によるものであることを明示した事例を理解できているかを確認します。和訳問題では、キツネを家畜化した具体的な方法を理解し、動名詞を主語にもつ構文を把握した上で、明確な日本語に訳す力を問うています。